

市



立



病



院

だ



よ



り



令和3年 1月号

令和2年4月、市立病院は地域がん診療連携拠点病院（高度型）に指定されました。

令和2年4月、市立病院は厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院（高度型）」に指定されました。「地域がん診療連携拠点病院」の中でもより厳しい条件をクリアし、かつ「診療機能が高い」と判断される病院が二次医療圏で1ヶ所のみ指定される制度で、令和2年4月現在、全国で47病院しか指定を受けていません。

「高度型」の拠点病院として、今後も市立病院だけではなく、中河内医療圏のがん診療のレベルアップを推進してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症拡大という状況下、多くの方から、寄附・寄贈や応援のメッセージをいただいております。ご厚意に感謝するとともに、皆さまの気持ちに応えられる医療の提供に今後も努めてまいります。



令和2年4月、市立病院は厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院（高度型）」の指定を受けました。



田村 茂行 病院長

大阪大学医学部を卒業。大学での研究や関連病院での臨床経験を積んだ後、平成14年から関西労災病院で勤務。外科・消化器外科部長を務め、平成23年に院長補佐、平成24年からは副院長を歴任。

平成29年に八尾市立病院外科系副院長として着任。平成31年4月病院長就任。

八尾市立病院は、平成27年4月に厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。その後、制度の改定により新設された「高度型」の指定を受けるべく、さらなる診療体制・診療機能の整備を行うとともに、がん治療やがん相談に関する実績を積み重ねてまいりました。

その結果、令和2年4月に「地域がん診療連携拠点病院（高度型）」の指定を受けることができました。

今回は田村病院長に、「高度型」の指定を受けるに至った取り組みをはじめ、新型コロナウイルス感染症の流行についてお話を伺いました。

全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、厚生労働省が一定の要件を満たす病院を指定する制度です。

指定された医療機関では、専門的ながん医療の提供、がん診療の地域連携協力体制の構築、がん患者・家族に対する相談支援及び情報提供などをを行っています。

— 厚生労働省が指定するがん診療連携拠点病院以外に、大阪府の指定もあるようですが。

大阪府では、厚生労働省の指定以外にも、専門的ながん診療機能を有する病院を「大阪府がん診療拠点病院」と指定しており、当院は平成21年に指定されました。

— そこから、厚生労働省指定のがん診療連携拠点病院をめざすのは、かなりハードルが高かつたのではないかですか。

ね都道府県に1ヶ所、「地域がん診療連携拠点病院」は二次医療圏に1ヶ所を目標に指定されています。

中河内一次医療圏では、すでに平

成15年度に市立東大阪医療センターが指定されており、当院が指定さ

れる可能性はないと考えていました。

ところが、平成26年度から指定要件が厳格化される一方、大阪府から「要件を満たし、かつ必要性を認められる場合は一次医療圏で2施設目でも国に推薦する」という情報があり、厚生労働省指定の連携拠点を目標とすることとしました。

— 確かに、同じ二次医療圏ではあ

るもの、当院と市立東大阪医療センターでは、交通アクセスが良いとは言えず、異なる医療圏という感じがします。

— その結果、平成27年4月に厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受け、さらに、「地域がん診療連携拠点病院（高度型）」の指定を受けるに至ったわけですね。

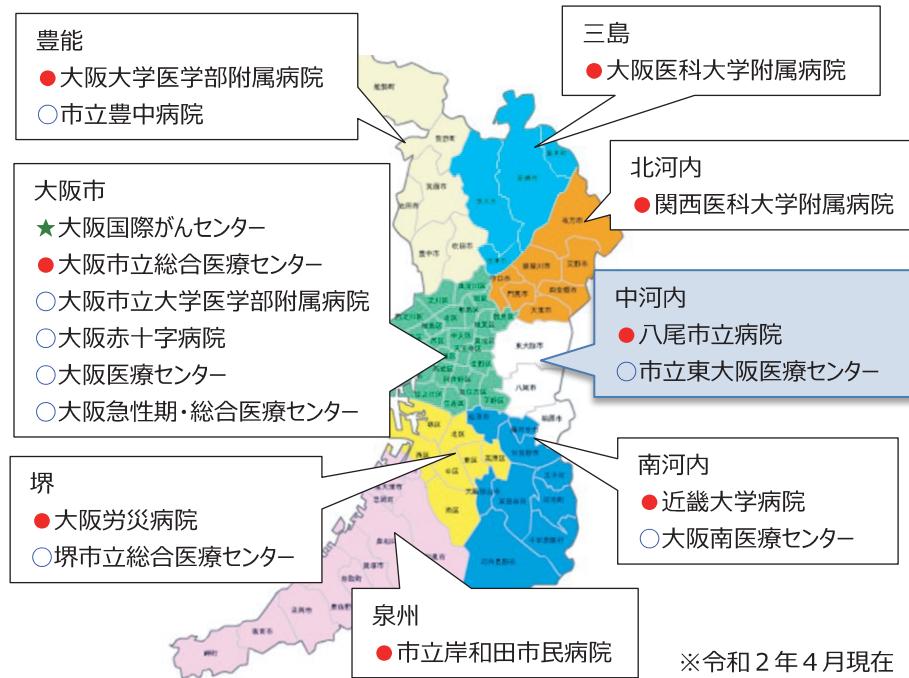
「高度型」はさらに「プラスアルファの指定要件を満たし、「診療機能が高い」と判断された場合、同一医療圏に1ヶ所のみ指定されます。

厚生労働省が指定する「がん診療連携拠点病院」※令和2年4月現在

種別	施設数	備考
都道府県がん診療連携拠点病院	51	原則各都道府県に1ヶ所。専門的ながん医療の提供とともに、都道府県内のがん診療の連携協力体制の整備やがんに関する相談支援情報の提供を担う。
地域がん診療連携拠点病院（高度型）	47	地域がん診療連携拠点病院のうち、診療実績が各地域において最も優れており、放射線治療、緩和ケア、相談支援、医療安全などの提供体制が充実している病院。
地域がん診療連携拠点病院	275	原則二次医療圏に1ヶ所（複数設置の地域もある）。専門的ながん医療の提供とともに、地域のがん診療の連携協力体制整備や、がんに関する相談支援情報の提供を担う。
地域がん診療連携拠点病院（特例型）	26	地域がん診療連携拠点病院のうち、指定要件の一部が未整備であった病院。指定要件の充足が確認されれば、再び地域がん診療連携拠点病院に指定される。
特定領域がん診療連携拠点病院	1	特定のがん種について、都道府県内で最も多くの診療実績があり、拠点的役割を果たす病院として、都道府県の推薦を基に厚生労働大臣が指定した病院。
国立がん研究センター	2	国立がん研究センター中央病院と国立がん研究センター東病院がある。

大阪府の二次医療圏と厚生労働省指定のがん診療連携拠点病院

- ★都道府県がん診療連携拠点病院 ●地域がん診療連携拠点病院（高度型）
○地域がん診療連携拠点病院



「高度型」の指定を受けるのはかなり難しいと言われており、令和2年4月現在、全国でも47病院しか指定を受けていません。

— そのうちの1つが八尾市立病院ということで、院しか指定を受けていません。

地域住民にとっては大変心強い存在と言えますね。

全国では47病院ですが、大阪府で何ヶ所が指定されているのですか。

実は、大阪府は全国で最も多く8病院が指定を受けています。

大阪府では以前から、大阪国際がんセンターを中心に、府内のがん診療センターを中心とした府内のがん診療体制が実現できています。

療体制の整備に取り組んでおり、その結果、高度型の要件を満たす病院が多く存在し、各医療圏でのがん診療のレベルアップを実現できているのではないかと考えています。

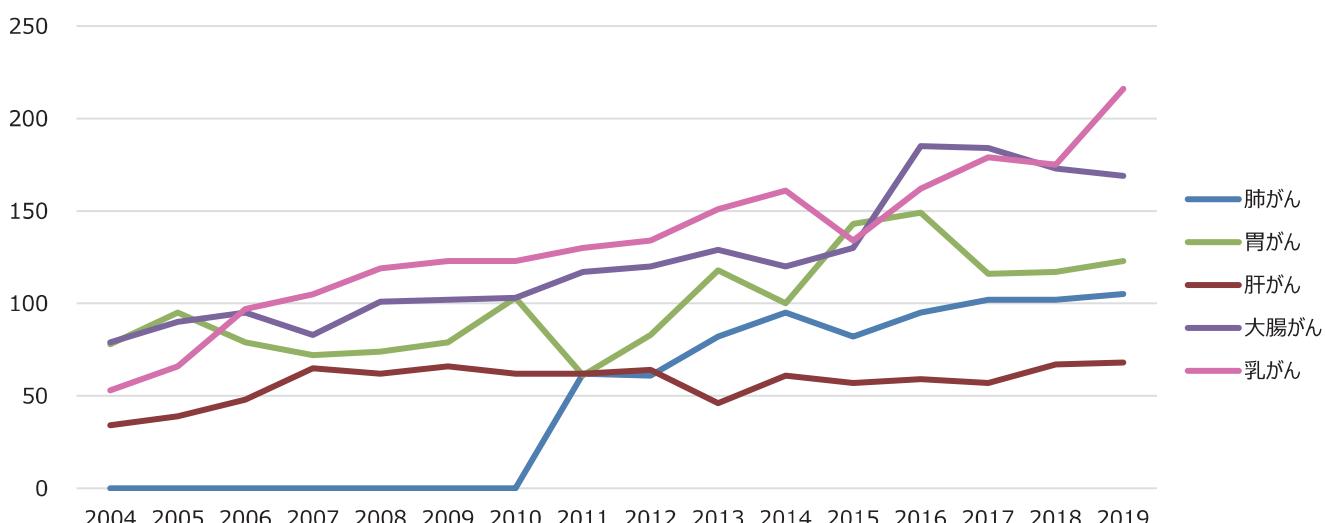
— 「高度型」の指定を受けるために私は、手術をはじめとするがんの診療体制・診療実績も重要ですが、高度な放射線治療、緩和ケアやがん相談などの様々なサポート、さらにがん登録の充実も求められますね。

私自身も外科医ですので、手術については重要視しています。中央手術室での手術件数は年々増加しており、令和元年度には念願の年間5,000件を超えるました。

中央手術室は7室で、そのうち1室は緊急帝王切開術などのために常時確保しておく必要がありますので、残り6室はほぼフル稼働状態での運用となっていました。

そこで、今年度に入り中央手術室の1室増室の改修工事を行いました。その結果、手術決定から実施までの期間の短縮化や、緊急手術のスムーズな実施が可能になり、患者さんやスタッフに喜んでいただいています。

【5大がんの手術実績】 ※外科・乳腺外科・消化器内科実績



放射線治療装置（平成 28 年 3 月に更新）

あらゆる高精度放射線治療を短時間で実現可能とする放射線治療装置（リニアック）。強度変調放射線治療（IMRT）、定位放射線治療などの高精度な放射線治療においても、高線量・短時間の照射で安全で精度の高い治療を実現している。

— 5 大がんの手術等、手術実績は年々伸びており、増室でスムーズに運用できることを期待しています。高度型の要件の 1 つである高度な「放射線治療」も当院の強みですね。

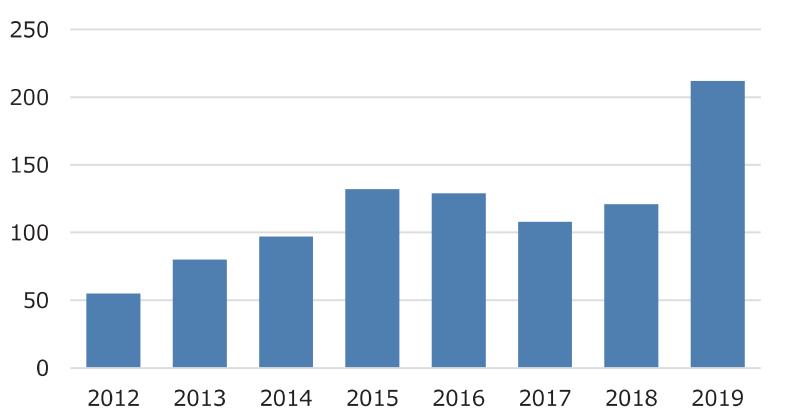
平成 28 年 3 月に更新した最新の治療が可能な放射線治療装置（リニアック）を活用し、IMRT（強度変調

放射線治療）やピニングポイント照射（定位放射線治療）といったハイレベルの治療も行っています。当院におけるがん治療の一環として、単独または手術や化学療法との組み合わせで行われますが、他の医療機関から放射線治療目的での紹介もいただいているます。

— 緩和ケアについては、昨年度以降緩和ケアチームのメンバーを増強されていますね。

緩和ケアチームには、身体症状の緩和を担当する医師と精神症状の緩和を担当する医師、緩和ケアの経験を有する看護師と薬剤師が必須となります。このうち、精神症状の緩和を担当する医師について、従来は十分な体制が取れていなかったのですが、昨年度から複数の専門医を配置することができ、チームとしての介入件数が大きく増えています。

緩和ケアチーム 新規介入件数



確かに、昨年度は大幅に介入件数が増えていました。

同じく「高度型」の指定において充実が求められるがん相談についてはどうですか。

がん相談支援センターについては特に近年、その役割の重要性が増していると感じています。

がんに関する患者さんやご家族の不安や悩みは、病状だけでなく、生活環境や社会的環境にも影響を受けることもあります。多岐にわたっています。

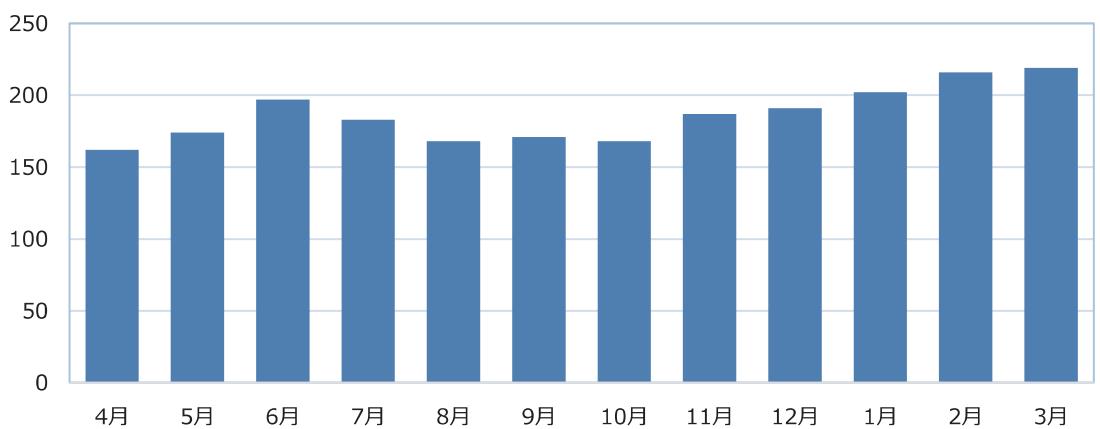
一方、インターネットの普及などにより様々な情報が溢れ、情報の取捨選択が難しくなっています。

そこで、様々な専門的な相談窗口である、がん相談支援センターが重要になってくるのですね。

市立病院のがん相談支援センターには、看護師（がん看護専門看護師、乳がん看護認定看護師）、社会福祉士（ソーシャルワーカー）、臨床心理士（公認心理師）などが常駐し、様々な相談に対応できる体制を整えています。相談内容によっては、医師や薬剤師などの専門家に引き継ぐことも可能です。

また、最近はがん患者さんの就労支援も課題の一つです。がん治療後や治療中の就労に関する様々な問題がある場合は、一人で悩まず、がん相談支援センターにご相談ください。

がん相談支援センター 相談件数2019年度



がん相談支援センター

■ どんな相談に乗ってくれるの？ <相談内容>

「がん」に関する様々な相談をお受けしています。
たとえば…

- ・各がんの病態や治療について知りたい。
- ・検診ではどんなことをするのか教えてほしい。
- ・療養中の食事、服薬中の薬について相談したい。
- ・医療費の支払いや地域の医療機関等に関する情報が知りたい。
- ・就労について相談したい。
- ・がんと告知され、心配や不安やイライラした気持ちになるが、どうしたらよいか。
- ・セカンドオピニオンについて教えてほしい。

※ なお、医療訴訟目的及び裁判係争中の場合は、
ご相談はお受けできません。



がん相談支援センター
TEL.072-922-0881
(病院代表)
※ お電話または病院スタッフにお声かけください。

緩和ケアチーム

「緩和ケア」とは、病気と診断されたときから行う、身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケアです。

様々なお困りごとを、専門のスタッフがサポートします。



身体のつらさ

痛み・息苦しさ・だるさ・しびれ 等

心のつらさ

不眠・不安・気分の落ち込み 等

生活のつらさ

家族・仕事・お金・退院後の生活 等

医師や看護師、薬剤師をはじめとする様々な職種からなる緩和ケアチームが、主治医と一緒に病気で治療中の皆さまをサポートします。

診察やサポートをご希望の方は、お気軽に主治医や看護師にご相談ください。

— 月平均200件、1日平均10件程度の相談を受けているようですね。

その他にも市立病院のがん相談支援センターの特徴があれば教えてください。

常勤の臨床心理士（公認心理師）が2名配置されているのも当院のがん相談支援センターの特徴です。心理の専門家による分析やアドバイスで、がん治療に前向きに取り組むことができたという例も聞いています。

— 「高度型」の要件の1つに「国立がん研究センターが提供する研修で中級認定者の認定を受けた専従の院内がん登録の実務者の配置」とあります、「がん登録」とはどのような仕組みでしょうか。

当院でがんと診断したり、他院で

がんと診断された方に対して治療をした場合、その患者さんをがん患者として、診断情報や治療情報を登録する制度です。

病院内だけではなく、国レベルで登録する情報の基準を決め、統一された内容で登録・集計されることで、がんの種別ごとに発見される経緯（かかりつけ医の診察や検診等）や、

診断時のがんのステージや初回治療の内容（手術、化学療法等）の傾向等が明らかになってきています。
— がん登録の情報については医療従事者にとってはもちろん、例えば5年生存率やがん検診の重要性を示すデータなど、一般的にも認識されできましたね。

がん登録の重要性が増している中、「高度型」の指定を受ける病院では、

がん登録の要件の1つに「国立

がん研究センターが提供する研修で中級認定者の認定を受けた専従の院内がん登録の実務者の配置」とあります、「がん登録」とはどのような仕組みでしょうか。

— その他にも地域がん診療連携拠点病院の新たな活動として、中学校や高等学校での「がん教育」にも取り組まれているとお聞きしています。
— その他にも地域がん診療連携拠点病院の新たな活動として、中学校や高等学校での「がん教育」にも取り組まれているとお聞きしています。
— その他にも地域がん診療連携拠点病院の新たな活動として、中学校や高等学校での「がん教育」にも取り組まれているとお聞きしています。

— さて、話は変わりますが、新型コロナウイルス感染症についてはほとんどの医療機関が影響を受けていますが、市立病院ではどうですか。

市立病院では、新型コロナウイルス感染症の検査対応や入院受け入れを行っていますが、刻一刻と状況が変化するため、現時点で公表していないことが多いります。今回お話を伺ったところでは、患者数の減少が最も大きなダメージとなっていました。



中学校で授業を行う佐々木特命総長

— 具体的には昨年度と今年度の上半期を比較するとどれくらい減少していますか。

地域のかかりつけ医からの紹介患者者が大幅に減少していることや、健診の延期による精査目的の受診減少なども大きく影響しています。

— 外来患者数で約20%、入院患者数で約16%減少しています。外来では初診患者さんの減少が大きく、対前年で40%近く減少しています。

新型コロナウイルス感染症による影響について

特に、4月・5月には緊急事態宣言、またそれに伴う各学会から「不要・不急の手術の延期」の発信があり、外来患者数で32%減少し、初診患者数では昨年度の半分以下にまで患者数が落ち込みました。

一方で、患者1人当たりの1日単価（診療単価）は大きくアップしているようですが。

地域医療支援病院や地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センターといった当院の機能の特性

一方で、患者1人当たりの1日単価（診療単価）は大きくアップして

上、このような状況でも、当院での診療・治療が必要な患者さんが来院されることから、必然的に診療単価がアップしていると考えています。昨年度の上半期と比較して、外来診療単価は約14%、入院診療単価は約45%アップしています。

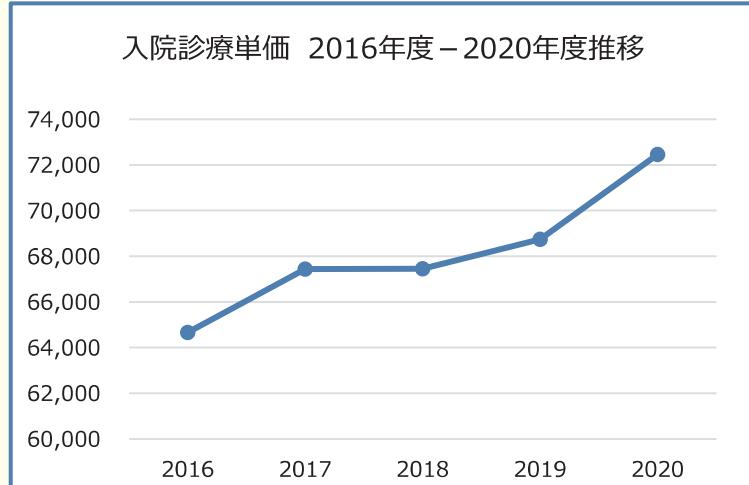
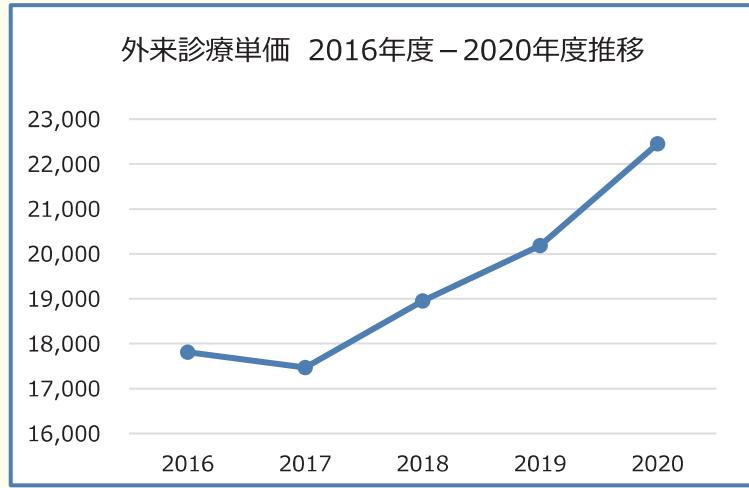
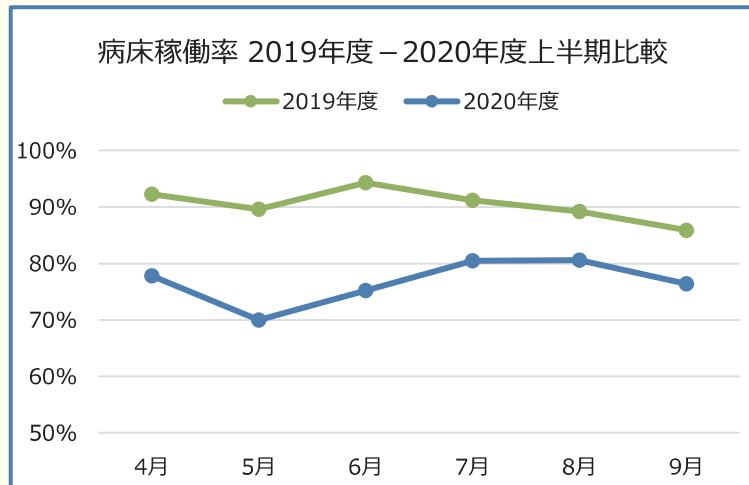
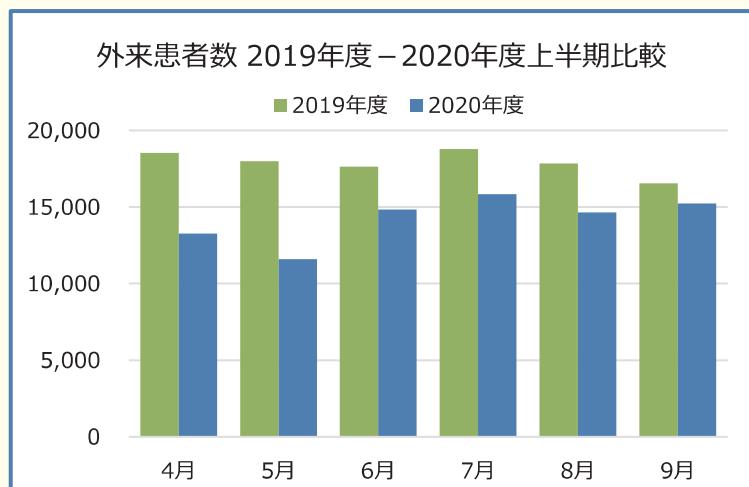
— 外来診療については、一部診療科で診療制限を行っていますね。

元々、耳鼻咽喉科と整形外科は、紹介患者と予約患者のみの診療とさせていただいていたのですが、現在は、

— 令和2年4月の診療報酬改定で、300床以上の病院は紹介によらない初診については「初診時選定療養費」として、初診料とは別に5千円以上を徴収することが義務付けられていますね。

厚生労働省が進めている「医療の機能分化」の一環で、大きな病院に外來患者が集中しないようにする施策

その点からも、内科系診療科で行っている紹介患者と予約患者のみの診療の継続を視野に入れていますので、皆さまにはまずはかかりつけ医をお持ちいただき、必要に応じてかかりつけ医から市立病院を紹介いた



病院ロゴマークについて

— ただし、病院のロゴマークの作成は予定通り実施できましたね。

— 令和2年3月号の市立病院だよりでは、「市立病院開院70周年」であることを紹介されていました。

70周年のイベントとして、各地域のコミニティセンターでの市立病院公開講座などを計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できていません。

市立病院のことをもっとよく知つていただけ機会だと考えていただけに、大変残念に思っています。



【ロゴマークの説明】(作成者の応募時コメント)

命が生まれているところ、また特産品の枝豆で「八尾」を表現しており、枝豆と同じように、八尾の地域に根付いて、たくさんの人から愛されている病院をイメージして作成しています。

ハートは「がん医療のさらなる充実」「救急医療、小児・周産期医療などの政策医療の継続」「QOL(生活の質の維持・向上)を目指す医療の充実」が実ることを表現しています。

【八尾市立病院の基本理念】

1. 地域住民の健康な生活を守るため、高度で良質な医療を提供します。
1. 信頼される市の中核病院として、地域に密着した医療を推進します。
1. 市民に誇れる公立病院として、品格ある病院運営を実践します。

状態で選考を行いましたので、私への忖度はなかつたと思いますが……。

基本理念を踏まえ、地域に根付き、

地域の皆さんに愛される病院にしたいという思い、私達が目標とする医療の提供が実れば良いなという思いを込めてデザインしました。

— 「意外」と言つては失礼ですが、職員にも好評で、多くの職員の方がロゴマークのバッジを着用されているのを見かけます。

ちょうど新型コロナウイルス感染症が拡大し始めた頃にロゴマークが

決定されたので、このような大変な状況下でも、職員一丸となつて頑張ろうという思いを体現するものとして缶バッジを作成し、PFー事業者として働く方も含め、全職員に配布しました。

現在も多くの職員が着用して勤務している姿をみると、きっとこのコロナ禍も大きな経験として、将来の市立病院の成長につなげるとができるという思いを強くしているところです。

市民のみなさまには、引き続き市立病院を応援いただけると幸いです。

